

受入れトライアルコース C

10月6日から16日まで、インドネシアから15名、ベトナムから5名の連携大学の大学生を受入れました。期間中は、ツインクル事前授業において本学の派遣学生と授業開発を行い、各分野に分かれて工学部や理学部、園芸学部といった各学部の研究室においてゼミ・研究活動の体験に参加するなど、様々な形での交流を深めました。また、授業開発の協働に際し、日本の科学授業の現状について理解を深めてもらうため、本学教育学部附属中学校での理科授業の見学を実施しました。学生たちからは、「実験中心の授業というのは、まず正解を教えるのではなく、試行錯誤の中で生徒自身が正解にたどりつく過程が大事にされていることが興味深かった」などの感想が聞かれました。



初日・ウェルカムセレモニーにて



日本文化紹介（浴衣試着・折り紙講座）



日本人派遣学生との授業開発



附属中学校訪問